



南海トラフ大地震・その時 ～医療・介護情報ネットワークをどう活かすか

全国で多くの医療・介護の情報ネットワークが構築されています。和歌山県では「きのくに医療連携システム青洲リンク」が運用されており、平時の医療連携支援に加えて、災害時の診療情報共有基盤を提供しています。近い将来必ず発生すると言われる大災害に、これらの地域医療・介護ネットワークはどのような役割を果たすことができるのでしょうか。WAMINA 設立 20 年を迎えた本年、このテーマについて皆さんと考えたいと思います。



2025 年 **12 月 6 日** (土) 14:00 ～ 17:00 (13:30 受付開始)

会 場：和歌山県民文化会館 特設会議室 (和歌山市小松原通一丁目1番地)

定 員：100名 (先着順)

参加費 (資料代等)：1,000 円

医療情報技師ポイント：3 ポイント付与

プログラム

14:00 ～ 14:05 <開会挨拶>

入江 真行 (NPO法人和歌山地域医療情報ネットワーク協議会 理事長)

14:05 ～ 14:25 **報告「WAMINA20年の歩み」**

道本 浩司 (NPO法人和歌山地域医療情報ネットワーク協議会 副理事長)

14:25 ～ 15:25 **基調講演「大規模災害の支援時・**

受援時に求められる医療情報」

加藤 正哉 (公益社団法人地域医療振興協会／有田市立病院 管理者)

15:25 ～ 15:35 <休憩>

15:35 ～ 16:25 **講演「全国医療情報プラットフォームと
地域医療情報連携ネットワークについて」**

渡部 愛 (日本医師会総合政策研究機構)

16:25 ～ 16:55 <総合質疑>

座長：西川彰則 (和歌山県立医科大学 医療情報部長/教授、
NPO法人和歌山地域医療情報ネットワーク協議会理事)

16:55 ～ 17:00 <閉会挨拶>

中井 國雄 (NPO法人和歌山地域医療情報ネットワーク協議会 理事)

(敬称略)

主催：NPO 法人 和歌山地域医療情報ネットワーク協議会 (WAMINA)

E-mail info@wamina.jp Web サイト <http://www.wamina.jp/>

後援：和歌山県、(一社)和歌山県医師会、(一社)和歌山県薬剤師会、(公社)和歌山県病院協会、
和歌山県情報化推進協議会、日本医療情報学会関西支部、関西医療情報処理懇談会

講師プロフィール

かとう せいや
加藤 正哉 氏



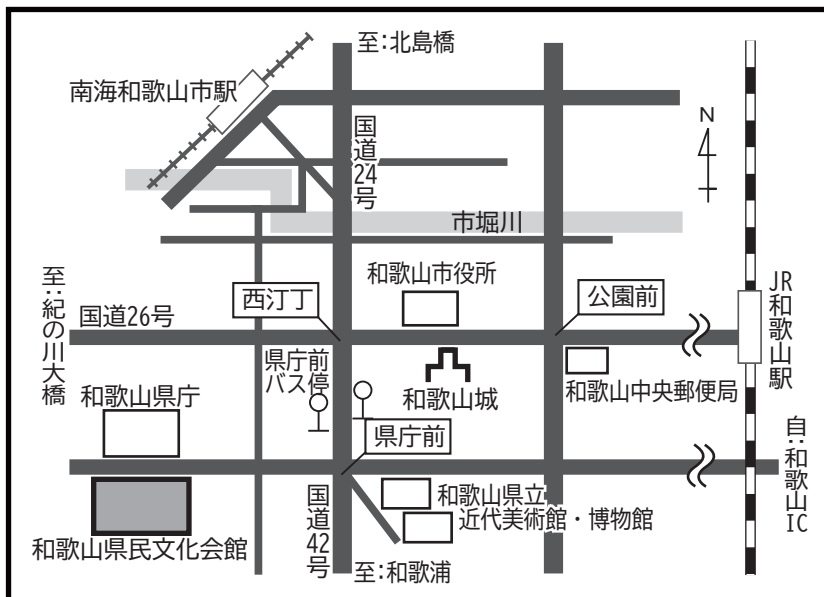
宮城県仙台市出身。1982年に自治医科大学医学部を卒業後、国立仙台病院(現・仙台医療センター)で研修を開始。東北大学医学部脳疾患研究施設脳神経外科を経て、宮城県内の公立病院・へき地診療所で地域医療に従事。その後、自治医科大学救急医学講座にて講師・助教授を務め、1997年から米国ニューメキシコ大学に留学。2011年より和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座教授、2023年に同大学を退職し名誉教授。現在は有田市立病院の管理者を務める。

渡部 愛 氏



1997年から2001年、名古屋大学大学院医学系研究科で医療管理情報学を学び、2001年から日本医師会総合政策研究機構で主任研究員を務めている。

会場へのアクセス



- 南海電鉄「和歌山市駅」より
徒歩 約20分
タクシー 約5分
バス 約10分(9・10番のりば)
「県庁前」バス停下車
- JR「和歌山駅」より
徒歩 約35分
タクシー 約10分
バス 約10分(2番のりば)
「県庁前」バス停下車
- 阪和自動車道「和歌山I・C」より
車で約15分・約4km
- 駐車場
会館横 有料駐車場

Googleマップ→



参加お申込み

お申込み方法 メールまたは、申し込みフォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。

締め切り 2025年12月3日(水) 12:00

メール E-mail: info@wamina.jp

申し込みフォームURL <https://forms.gle/QDwdYQVUq8yJjEuR9>
右の二次元コードからもアクセスできます。



※定員(100名)になり次第、締め切らせていただきます。